

「加熱卵黄の食物経口負荷試験陽性患者の鶏卵アレルギー自然歴に関する研究」

1. 研究の対象

2012年1月～2013年12月に当院で加熱卵黄の食物経口負荷試験を受けられた方

2. 研究目的・方法

鶏卵は食物アレルギーの原因食物として日本では最も多くの割合を占めています。鶏卵アレルギーの自然歴として、日本の報告では4歳で約半数が加熱鶏卵を症状なく食べることができるようになるかとされています。鶏卵アレルギーを起こすアレルゲンはそのほとんどが卵白由来と考えられています。一方で卵黄は卵白に比べアレルゲン性が低く、鶏卵アレルギーがあっても症状なく食べられることが多いとされています。当院では鶏卵アレルギーの診療の最初のステップとして、まずは安全性の高い加熱卵黄で症状がでるかどうかなを確認し、その後卵白を少しずつ増量して段階的に安全を確認する方法をとっています。今までごく少量の卵の摂取で症状がでている患者様や、血液検査から症状がでる可能性が高いと考えられる患者様には、加熱卵黄を実際に食べて症状がでるかどうかなを確認する食物経口負荷試験という検査を行っています。多くの患者様はこれまで考えられている通りに無症状ですが、一部の患者様は加熱卵黄でアレルギー症状が出ます。加熱卵黄に反応する患者様の自然経過が前述の報告の通りの割合で治っていくのか、それともアレルギーが長期化するのかはわかっていません。これを明らかにするために、研究を行っています。当院で加熱卵黄の食物経口負荷試験を受けられた患者様の過去のカルテを参照して、加熱卵黄で症状がでた方と無症状の方で分けて解析し、負荷試験の1年後、3年後にどのくらい鶏卵が食べられるようになっていたかを比較します。この検討により、加熱卵黄に反応がでた患者様のその後の鶏卵アレルギーの見通しを明らかにし、どのような管理が適切なのかを考える手助けにしたいと考えています。患者様の氏名などの個人情報には省いた形での臨床研究になりますので、個人情報が外部に漏れることはありませんのでご安心ください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、アレルギー症状の既往、食物経口負荷試験の結果、血清総IgE値、血清鶏卵関連特異的IgE値、1年後、3年後の鶏卵摂取状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：宮城県立こども病院 アレルギー科 三浦 克志

連絡先：022-391-5111（代表）